

日系企業外貨建て社債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-09

【愛称：新日本晴】

単位型投信／海外／債券

2020年9月29日から2021年3月26日まで

第9期 償還日：2021年3月26日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは日系企業が海外で発行する外貨建ての債券等に投資することにより、安定的な収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行いました。当期についても、運用方針に沿った運用を行い、2021年3月26日に償還となりました。

皆さまのご愛顧ありがとうございました。

 三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

当期の状況

償還価額(償還日)	10,089円63銭
純資産総額(償還日)	1,815百万円
騰落率(当期)	+0.4%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※単位型投信の場合、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2020年9月29日から2021年3月26日まで)

基準価額等の推移



期首	10,051円
----	---------

償還日	10,089円63銭
-----	------------

騰落率	+0.4%
-----	-------

基準価額の主な変動要因（2020年9月29日から2021年3月26日まで）

当ファンドは、日系企業が海外で発行する外貨建ての債券等に投資しました。外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行っています。

上昇要因

- 社債の金利収入
- スプレッド（国債に対する上乗せ金利）の縮小により、社債利回りが低下（価格は上昇）したこと

下落要因

- 為替ヘッジコスト

1万口当たりの費用明細（2020年9月29日から2021年3月26日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	34円	0.337%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は10,075円です。
（投信会社）	(22)	(0.216)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(11)	(0.108)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.013)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(-)	(-)	
（先物・オプション）	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(d) その他費用	1	0.009	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.008)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(-)	(-)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.001)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	35	0.346	

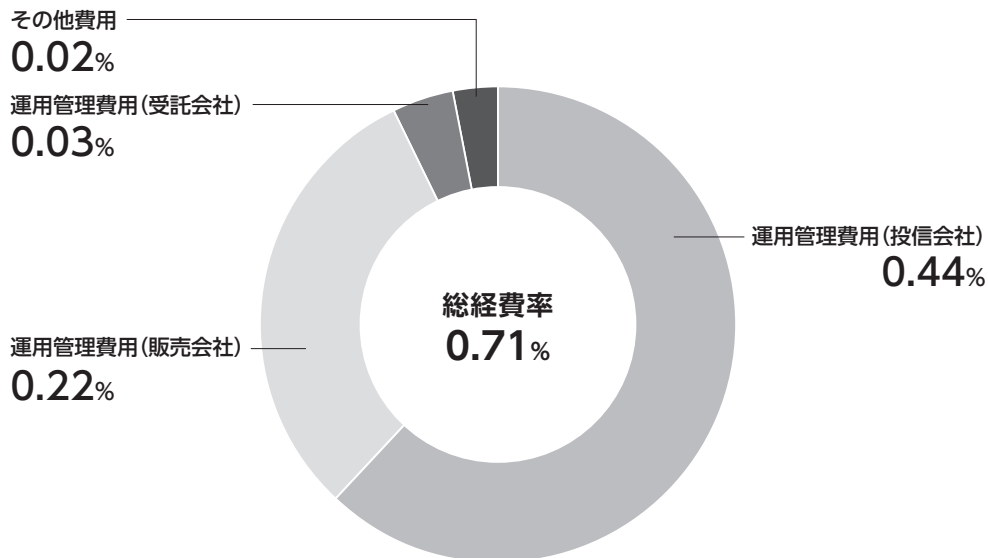
※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

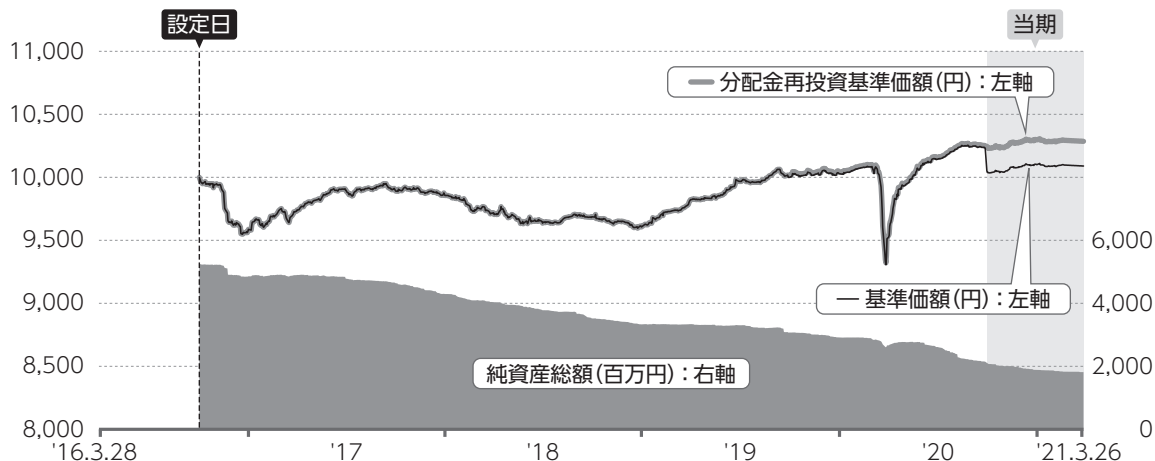
※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は0.71%です。

最近5年間の基準価額等の推移について（2016年3月28日から2021年3月26日まで）

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日（2016年9月30日）以降の情報を記載しています。

最近5年間の推移



※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。

最近5年間の年間騰落率

	2016.9.30 設定日	2017.3.27 決算日	2018.3.26 決算日	2019.3.26 決算日	2020.3.26 決算日	2021.3.26 償還日
基準価額 (円)	10,000	9,727	9,716	9,799	9,370	10,089.63
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	15	180
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	-2.7	-0.1	0.9	-4.2	9.6
純資産総額 (百万円)	5,255	4,893	4,042	3,335	2,622	1,815

※2017年3月27日の「分配金再投資基準価額騰落率」は、ファンドの設定日からの騰落率で、年間騰落率とは異なります。

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金（税引前）を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

投資環境について（2020年9月29日から2021年3月26日まで）

米国国債利回りは上昇しました。社債利回りは低下しました。

債券市場

米国国債利回りは期前半、新型コロナウイルスの感染拡大が一服したことやワクチンに対する期待、拡張的な財政政策に対する期待などを背景に、緩やかに上昇（価格は下落）しました。1月以降は、バイデン政権の誕生により財政拡大期待が一層強まり、国債利回りはさらに上昇しました。

社債スプレッドは、FRB（米連邦準備制度理事会）が緩和的な金融政策を維持してい

ることに加え、財政拡大期待やワクチンの普及期待により、リスク資産市場がサポートされたことで、期を通して縮小基調で推移しました。その結果、社債利回りは期初から低下基調で推移しましたが、2月以降は国債金利の大幅上昇を受け、社債利回りも上昇する展開になりました。

当期の市場の動きを米国5年国債利回りで見ると、期首0.27%から償還日には0.84%へ上昇しました。

ポートフォリオについて（2020年9月29日から2021年3月26日まで）

●格付け別配分

A格の組入比率を高めとして、一部BB格へ配分しました。ファンドで保有する債券の平均格付けはA格としていました。

ファンドの償還に対応するため2月中旬に債券を全て売却しました。

●デュレーション（投資資金の平均回収期間）

ポートフォリオのデュレーションは2年弱とし、満期構成では残存期間0.5年～3.0年の債券をバランスよく保有しました。

※繰上償還条項が付与されている場合は、原則として繰上償還発効日を償還日とみなしています。

●業種別配分

業種別には保険への配分を高めとして、銀行や通信、その他金融などにも配分しました。

●為替ヘッジ

為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図りました。

ベンチマークとの差異について（2020年9月29日から2021年3月26日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について（2020年9月29日から2021年3月26日まで）

償還のため、該当事項はございません。

2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。

3 お知らせ

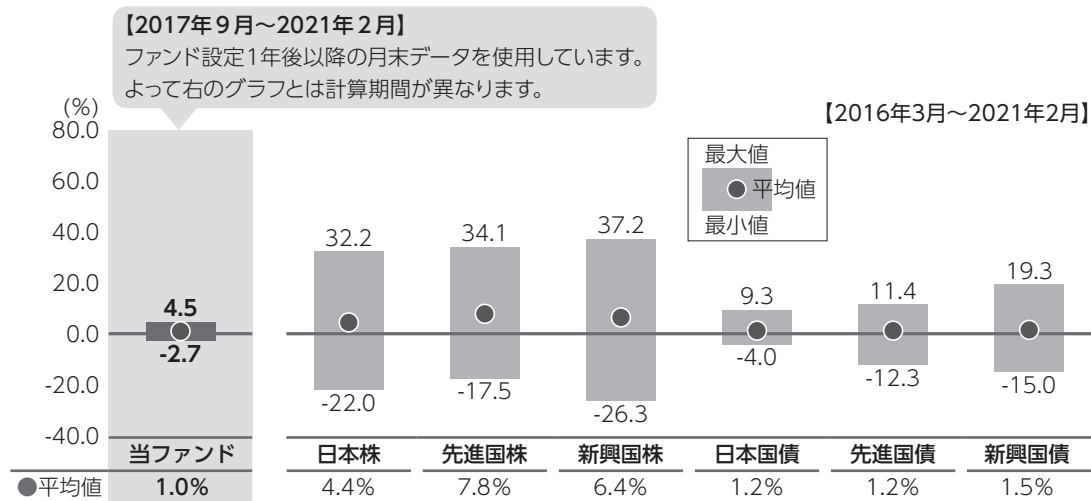
約款変更について

該当事項はございません。

4 当ファンドの概要

商 品 分 類	単位型投信／海外／債券
信 託 期 間	2016年9月30日から2021年3月26日まで
運 用 方 針	日系企業が海外で発行する外貨建ての債券等に投資することにより、安定的な収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主 要 投 資 対 象	日系企業が海外で発行する外貨建ての債券等
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ■主として、日系企業が海外で発行する外貨建ての債券等に投資することにより、安定的な収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ■各国金利見通しおよび個別企業調査に基づき投資候補企業を選定し、業種配分、デュレーション、流動性などを勘案し組入銘柄を決定します。 ■外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。
組 入 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ■株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ■年2回(原則として毎年3月および9月の26日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額の範囲は、元本超過額または経費控除後の利子、配当等収益のいずれか多い金額とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX(配当込み) 株式会社東京証券取引所が算出、公表する指数で、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象としています。
先進国株	MSCIコクサイインデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI(国債) 野村証券株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

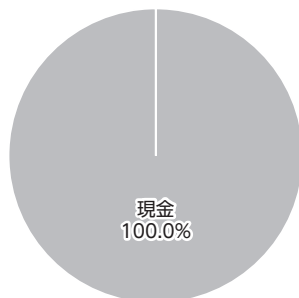
6 当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2021年3月26日）

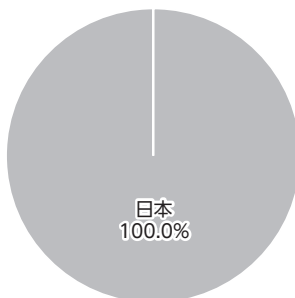
組入れファンド等

※償還日現在の組入れはありません。

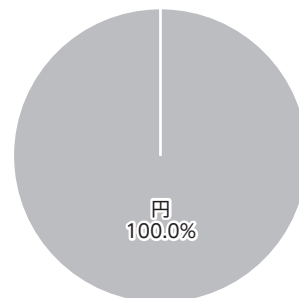
資産別配分（純資産総額比）



国別配分（ポートフォリオ比）



通貨別配分（純資産総額比）



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目	償還日
純資産総額 (円)	1,815,827,716
受益権総口数 (口)	1,799,696,644
1万口当たり基準価額 (円)	10,089.63

※当期における、解約元本額は298,202,334円です。

7 償還を迎えて

2016年9月30日に設定いたしました当ファンドは、2021年3月26日に償還となりました。

皆さまのご愛顧につき、お礼申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドをお引立て賜りますよう、お願い申し上げます。